

道徳 3年1学期

3年-No.1	友だちになろう	○B 友情, 信頼①	4月(1時間)
ねらい	健全な友達関係とは, 自分の利害にこだわることなく接していく関係であることに気付き, 健全な友達関係を育成しようとする道徳的心情を養う。		
教材	友だち屋(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, お金をもらって友達になってあげようとする主人公の姿から, 友達の在り方についての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公がお金をもらわなくなる理由に着目して考えることで, 健全な友達とは, 自分の利害にこだわることなく, 互いに思いやり, 対等で信頼できる存在であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○教科書の「ゆたかなころ」を読み, 道徳の学習の仕方を知る。 ○友達に関係を築くときに大切なことを振り返り, 学習課題「キツネが友達屋のお代をもらわなくなったのは, どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 健全な友達関係を築くことよさについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 友達関係を築くことに関して, 大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.2	いつもきちんと	A 節度, 節制①	4月(1時間)
ねらい	なまけ心があると気持ちのよい生活が送れないことに気付き, やるべきことはきちんと行おうとする道徳的判断力を養う。		
教材	太郎のいどう教室(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 部屋の片付けをしなかったために, 宿題を持って行けなかったり, そのことを母親のせいにしたりする主人公の姿から, 身の回りの整理整頓などの自分でやるべきことはきちんと行うことの難しさについての問題意識をもつことができる。展開では, 自分から進んで整理整頓をすることよさに着目して考えることで, 気持ちのよい生活ができるように, 身の回りの整理整頓などの自分でやるべきことはきちんと行うことが大切であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○家での片付けの様子を振り返り, 学習課題「どうして自分で片付けをしなくてはならないのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, やるべきことはきちんと行おうとすることよさについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 身の回りの整理整頓など, 自分でできることは自分で行おうとすることについて, 大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年1学期

3年-No.3	時間の使い方を自分で考える	A 節度, 節制②	4月(1時間)
ねらい	規則正しい生活を送るために、自分自身で考えて度を過ごすことなく生活することが大切であることに気づき、規則正しい生活を送ることができる道徳的判断力を養う。		
教材	早起きは三文の徳(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、夜遅くまでゲームをしていて、なかなか朝起きられない主人公がキャンプをきっかけに規則正しい生活を送れるようになった姿から、子どもたちは規則正しい生活について問題意識をもつことができる。展開では、キャンプ前の生活とキャンプ後の生活に着目して考えることで、規則正しい生活を送るために、自分自身で考えて度を過ごすことなく生活することが大切であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○早ね早起きについて自分の過ごし方を振り返り、学習課題「規則正しい生活を送るためにどうしたらよいのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、自分自身で考えて度が過ぎることなく生活することの大切さについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

3年-No.4	しょうじきな心	A 正直, 誠実①	5月(1時間)
ねらい	主人公が鶴を折るときに、友達が元気になるようお祈りをしなかったことを正直に伝えた理由を話し合うことを通して、自分の間違いを認め正直に伝えることで明るく健やかに生活できることに気づき、自分を偽らずに正直に生活しようとする道徳的心情を養う。		
教材	千羽づる(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、教材の主人公が、友達が元気になるようお祈りをせずに鶴を折ったことを正直に言ったことについて、自分と比べながら感想や疑問を話し合うことで、正直に言うことのよさについての問題意識をもつことができる。展開では、友達が元気になるようお祈りをせずに鶴を折ったことを、主人公が正直に言った理由に着目して考えることで、自分を偽らずに正直に生活することのよさに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○教材の主人公の行為についての感想や疑問を話し合い、学習課題「主人公がお祈りしていないことを正直に言ったのはどうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、自分を偽らずに正直に生活することの大切さについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、自分に正直で素直な行動ができることについて、大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年1学期

3年-No.5	いのちのつながり	◎D 生命の尊さ①	5月(1時間)
ねらい	生命の尊さを知るために、自分の生命は遠い世代から受け継がれてきたものであることに気づき、生命を大切にしようとする道徳的心情を養う。		
教材	いのちのまつり(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、ご先祖様のお墓参りをする大勢の人たちの姿から、ご先祖様にお墓参りをするということについての問題意識をもつことができる。展開では、主人公が「命ってすごい」と思った理由に着目して考えることで、自分の生命は遠い世代から受け継がれてきたものであることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○お墓参りをした経験について、自分の生活を振り返り、学習課題「命はどうしてすごいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、遠い世代から受け継がれてきた生命について、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、遠い世代から受け継がれてきた生命について、大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

3年-No.6	しょくぶつのふしぎ	D 自然愛護①	5月(1時間)
ねらい	自然の不思議さを感じ取るために、身の回りの植物に親しもうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	目をさますたね(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、ハスの種が芽を出すまでに非常に長い時間をかける姿から植物がなぜ芽を出したり、花を咲かしたりするのだろうかという問題意識をもつことができる。展開では、ハスの花が咲くことのおもしろさに着目して考えることで、身の回りの植物に親しもうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○身の回りの不思議だと感じた経験について考え、学習課題「植物にはどんな力があるのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、身の回りの植物に親しもうとすることについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、身の回りの植物に親しもうとすることについて、大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】 ・関連-理科「草花のせいちょうをしらべよう」			

道徳 3年1学期

3年-No.7	いのちとは	B 親切, 思いやり④	5月(1時間)
ねらい	生命の尊さを知るために, 生命は自分一人のものではなく多くの人々によって守り育まれている尊いものであることに気付き, 生命を大切にしようとする道徳的心情を養う。		
教材	どうか, 生きていてくれよ(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 自分の命をかけて他人の命を救う岡村さんの姿から, 子どもたちは消防士という自分たちの安心で安全な生活のために働く人がいることについての問題意識をもつことができる。展開では, 他人の命を救う岡村さんの思いについて考えることで, 子どもたちの生命は一人のものではなく, 多くの人々によって守り育まれている尊いものであることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分の命をかけて他人の命を救う岡村さんについての感想や疑問を話し合い, 学習課題「どうして自分の命をかけてまで他人の命を救うのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 自分たちの生活をさせてくれる人たちについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.8	きまりを生むもの	C 規則の尊重①	6月(1時間)
ねらい	社会集団を維持発展させるために, 社会生活の中において守るべき公徳が大切であることに気付き, 進んで大切にしようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	心の優先席(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 3人の女の子が優先席について話すのを聞いている主人公の姿から, 社会には約束やきまりで決まっていけないものがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 3人の考え方のよさや正しさに着目して考えることで, 社会集団を維持発展させるために, 社会生活の中において守るべき公徳を大切にしていこうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○約束や社会のきまりを守ることにについて振り返り, 学習課題「約束やきまりが決まっていけないときにはどうしたらよいのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 学校にいる様々な人たちと関わって生活することのよさについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 社会生活の中において守るべき公徳を実践することについて, 大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年1学期

3年-No.9	マナーに心をこめて	◎B 礼儀①	6月(1時間)
ねらい	相手に真心をもって接するために、マナーを守った行動をとることの大切さに気づき、行動しようとする心情を養う。		
教材	マナーをまもるのなぜ? (「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、日本の食事のマナークイズの回答について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで、子どもたちはマナーを守った行動をすることについて問題意識をもつことができる。展開では、マナーよく食事をする理由に着目することで、子どもたちは相手に真心をもって接することの大切さを考えることができ、マナーを守った行動をとることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○礼儀正しい行動について自分の生活を振り返り、学習課題「どうして、マナーを守って食事をするのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、マナーを守った行動をとることについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】	・給食時間にモニターに映している、食事のマナーについてのスライドを提示するとよい。		

3年-No.10	心をこめて	◎B 礼儀②	6月(1時間)
ねらい	真心は相手に伝えることができることに気づき、誰に対しても真心をもって接しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	電話のおじぎ (「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、祖母の電話の対応を笑う主人公の姿から、誰に対しても真心をもって接することについて問題意識をもつことができる。展開では、祖母の電話をしている相手に対する態度に着目して考えることで、真心は相手に態度で示していこうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○友達と話をするとき気を付けていることについて、自分の生活を振り返り、学習課題「礼儀正しくするのは、どうしてだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、誰に対しても真心をもって接しようとすることのよさについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、誰に対しても真心をもって接することについて、大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年1学期

3年-No.11	自分をささえてくれる人へのかんしゃ	B 感謝①	6月(1時間)
ねらい	生活を支えてくれている人に尊敬と感謝の気持ちをもって接するために、自分の生活を支えてくれる人の思いを考えることが大切であることについて、道徳的心情を養う。		
教材	ぼく知らなかったよ(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、掃除ロッカーの扉が直っていることに気付いた主人公の姿から、生活を支えてくれている人に尊敬と感謝の気持ちをもって生活することについての問題意識をもつことができる。展開では、主人公がもう一度お礼を言いたくなった理由に着目することで、生活を支えてくれている人に尊敬と感謝の気持ちをもって接することのよさ考えることができ、自分の生活を支えてくれる人の思いを考えることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分たちの生活を支えてくれる人について自分の生活を振り返り、学習課題「主人公がもう一度お礼を言いたくなったのは、どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、自分の生活を支えてくれる人の思いについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、自分の生活を支えてくれる人の思いを考えることについて、大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

3年-No.12	すすんではたらく	◎C 勤労、公共の精神①	7月(1時間)
ねらい	進んでみんなのために働くために、集団の一員として自分ができる仕事を見つけて行うことが大切であることについて、道徳的な道徳的判断力を養う。		
教材	はた・らく(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、夏休みのお手伝いのトイレ掃除を簡単に終わらせていた主人公の姿から、家族の一員としてみんなのために働くことについての問題意識をもつことができる。展開では、やる気を出してトイレ掃除に臨むようになった理由に着目することで、進んでみんなのために働くために、集団の一員として自分ができる仕事を見つけて行うことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○進んでみんなのために働いていることについて振り返り、学習課題「進んで仕事をするのはどうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、集団の一員として自分ができる仕事を見つけて行うことのよさについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、集団の一員として自分ができる仕事を見つけて行うことについて、大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】 ・掃除の取り組み方についてのアンケートをとり、導入で提示する。			

道徳 3年1学期

3年-No.13	しぜんをまもる	D 自然愛護②	7月(1時間)
ねらい	動植物や自然環境を守るために、動植物や自然環境との関わり方を考えようとする道徳的判断力を養う。		
教材	春の女神をまもる -ギフチョウ- (「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、ギフチョウの観察会に参加した主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで、子どもたちは動植物や自然環境を守ることの大切さについての問題意識をもつことができる。展開では、観察会に参加した主人公の心情の変化に着目することで、子どもたちは動植物や自然環境を守ることの意義を考え、動植物や自然環境との関わり方を考えることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○動植物との関わり方について自分の生活を振り返り、学習課題「植物や生き物をどう関わるのがよいのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、動植物や自然環境との関わり方を考えることについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年2学期

3年-No.14	みんなで使う場所だから	◎C 勤労, 公共の精神②	9月(1時間)
ねらい	集団生活を向上する上で, 約束やきまりを守るために, 約束やきまりを守ることの意味を考えようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	前橋クリーン作戦(自作)		
主題構成の理由	導入では, 道に落ちているごみを拾ったり, ごみを捨てる人の気持ちを想像しようとしたりする主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは集団生活を向上する上で, 約束やきまりを守りたいと思っけていてもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 前橋クリーン作戦の目的に着目することで, 子どもたちは集団生活を向上する上で, 約束やきまりを守ることのよさや難しさを考えることができ, 約束やきまりを守って生活していこうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○ごみの捨て方について, 自分の生活を振り返り, 学習課題「前橋クリーン作戦はだれのためにしているのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 集団生活を向上する上で, 約束やきまりを守ることにについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.15	力を合わせて	C よりよい学校生活, 集団生活の充実①	9月(1時間)
ねらい	学校での集団生活をよりよいにするために, みんなで協力し合い, 活動しようとする道徳的心情を養う。		
教材	四人五脚(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 運動会の練習で友達とうまくいきが合わせられなかったことについて自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 集団生活を充実させることの大切さについての問題意識をもつことができる。展開では, いきを合わせるために必要なことを調べたり, 走り方の工夫を話し合ったりした理由に着目することで, 子どもたちはよりよい学校にすることの意義を考えることができ, みんなで協力し合い, 学校での集団生活を充実させようとすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分の学校のよさについて自分の生活を振り返り, 学習課題「どうして, みんなで力を合わせるのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, みんなで協力し合い進んで集団のために活動することについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年2学期

3年-No.16	だれとでもなかよくするために	B 公正, 公平, 社会正義①	9月(1時間)
ねらい	誰とでも仲よく接するために, 自分の好みなどで不公平な道徳的実践意欲と態度をせずに接しようとする道徳的心情を養う。		
教材	お日様の心で(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 特製のカードをもらったり, 寂しそうな顔をする友達のことを考えたりする主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは誰とでも仲よく接することの大切さについての問題意識をもつことができる。展開では, 数日後, 主人公が今までで一番うれしかった理由に着目することで, 子どもたちは誰とでも仲よく接することの意義を考えることができ, 不公平な態度をせずに接しようとする大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○誰に対しても平等に接することについて自分の生活を振り返り, 学習課題「今日のカードが今までで一番嬉しかったのは, どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 自分の好みなどで不公平な態度をせずに接することについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.17	親切とおせっかい	B 親切, 思いやり①	9月(1時間)
ねらい	友達が喜ぶような行動をするために, 相手の気持ちを考え, 親切な行為を行おうとする道徳的判断力を養う。		
教材	わたしのしたこと(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 色塗りが苦手な友達の絵に色を塗る主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちはどのような行動を友達が喜ぶのかについての理解が不十分であるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公のしたことの是非に着目することで, 子どもたちは友達が喜ぶような行動を行うことの意義について考えることができ, 相手の気持ちを考え, 親切な行為を行おうとする大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○親切な行為について自分の過ごし方を振り返り, 学習課題「主人公がした優しいことはいけないことなのだろうか」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 多面的・多角的に考えたり, 相手の気持ちを考え, 親切な行為を行うことについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年2学期

3年-No.18	心をとどける	B 親切, 思いやり②	10月(1時間)
ねらい	親切な行為を自ら進んで行えるようになるために, 相手の置かれている状況や気持ちを自分のこととして想像しようとする道徳的心情を養う。		
教材	老人ホームのすずきさん(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 話すのが苦手なお年寄りに何度も話しかける主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは親切な行為を自ら進んで行いたいと思ってもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公がすずきさんを笑顔にできた理由に着目することで, 子どもたちは親切な行為を自ら進んで行うことのよさや難しさを考えることができ, 相手の置かれている状況や気持ちを自分のこととして想像しようとすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○親切な行為について自らの生活を振り返り, 学習課題「どうしたら他人を笑顔にすることができるのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 相手の置かれている状況や気持ちを自分のこととして想像することについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.19	自分にできること	C 家族愛, 家庭生活の充実①	10月(1時間)
ねらい	家族の役に立つために, 自分にできることを精一杯行おうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	清作のおてつだい-野口英世-(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 家族の手伝いをしたいと思っても, 左手が動かず働くことができない主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは家族の役に立ちたいと思ってもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公の母親が勉強を手伝いだと言った理由に着目することで, 子どもたちは家族の役に立つことのよさや難しさを考えることができ, 自分にできることを精一杯行おうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○お手伝いをしているときの気持ちについて, 自分の生活を振り返り, 学習課題「どうして勉強がお手伝いなのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 自分にできることを精一杯行うことについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年2学期

3年-No.20	やりぬく力	◎A 希望と勇気, 努力と強い意志①	10月(1時間)
ねらい	興味をもったことを納得するまで追求するために, 粘り強く取り組もうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	ラーメンでえがおにー安藤百福ー(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 自分の立てた目標を達成しようと, 知識がなく何度も失敗してもインスタントラーメンの開発に取り組む主人公の姿から, あきらめずに努力をすることについての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が粘り強く努力をし続けた理由に着目することで, あきらめずに取り組むことの難しさを考えることができ, 粘り強く努力をしていくことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○粘り強く取り組んでいることについて振り返り, 学習課題「どうして粘り強く努力をし続けるのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 粘り強く努力をすることの大切さについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 自分でやろうと決めた目標を達成するために, 粘り強く取り組むことについて, 大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.21	あきらめない心	◎A 希望と勇気, 努力と強い意志②	11月(1時間)
ねらい	できるようにになりたいという強い意志があることに気付き, 何事にも粘り強く取り組もうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	字を書きたいー星野富弘ー(ぐんまの道徳)		
主題構成の理由	導入では, 辛い思いをしながらも口で字を書こうとする主人公の姿から, 辛くてもあきらめずに取り組める理由についての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が粘り強く取り組む理由に着目することで, 子どもたちは粘り強く取り組むことの難しさや取り組み続けることで得られる喜びについて考えることができ, 何事にも粘り強く取り組もうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○粘り強く取り組んだ経験を振り返り, 学習課題「主人公があきらめずに字を書こうとしたのは, どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 何事にも粘り強く取り組もうとすることについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年2学期

3年-No.22	特徴を特長に	A 個性の伸長①	11月(1時間)
ねらい	自分の特長を見付け、伸ばすために、得意なこと、好きなこと、楽しいと思えることを見つけようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	世界一うつくしい体そうをめぐしてー内村航平ー(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、自分の力や得意なことを使って、自分に合う練習のやり方を編み出す主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで、子どもたちは自分の特長を見付け、伸ばすことの大切さについての問題意識をもつことができる。展開では、内村選手が世界一になれた理由に着目することで、子どもたちは自分の特長を見付け、伸ばすことの大切さを考えることができ、得意なこと、好きなこと、楽しいと思えることを見付けていこうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分の特長について自分の生活を振り返り、学習課題「内村選手が目標を達成できたのは、どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、得意なこと、好きなこと、楽しいと思えることを見付けることについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】 ・内村航平選手の映像を用意できるとよい。			

3年-No.23	心のうつくしさ	D 感動、畏敬の念①	11月(1時間)
ねらい	人の心や行動の素晴らしさを感じる道徳的心情を養う。		
教材	花さき山(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、花さき山に咲いた花の理由を聞く主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで、子どもたちは人の心や行動を感じ取る心をもつことの大切さについての問題意識をもつことができる。展開では、花さき山の花がきれいな理由に着目することで、子どもたちは人の心や行動の素晴らしさを感じ取る心をもつことの大切さについて考えることができ、自分や他人の考えていることに進んで触れようとするこのよさに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○美しい心について自分の生活を振り返り、学習課題「どうして花さき山の花はきれいなのだろうか」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、自分や他人の考えていることに進んで触れることについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年2学期

3年-No.24	本当の友だち	○B 友情, 信頼②	12月(1時間)
ねらい	友達として助け合うために, 友達のことを理解しようとする道徳的心情を養う。		
教材	ないた赤おに(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 青鬼が乱暴者のふりをすることや青鬼のことを心配する主人公の気持ちについて自分の友達との関わりと照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは友達として助け合うことの大切さについての問題意識をもつことができる。展開では, 赤鬼が涙を流した理由に着目することで, 子どもたちは友達として助け合うことの大切さを考えることができ, 友達のことを理解しようとすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○友達として助け合うことについて自分の生活を振り返り, 学習課題「どうして赤鬼は青鬼の手紙を読んで泣いたのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 友達のことを理解することについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.25	どうすることが正しいか	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任①	12月(1時間)
ねらい	正しいと自分で判断したことを, 自信をもって行うために, よいことと悪いことの区別を的確にしようとする道徳的心情を養う。		
教材	思い切って言ったらどうなるの?(「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, あやちゃんにさとみさんを誘おうと言ったり, さとみさんに声をかけられなかったりする主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは正しいと自分で判断したことを, 自信をもって行動したいと思っけていてもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公がさとみさんに話しかけられた後の行動に着目することで, 子どもたちは正しいと自分で判断したことを, 自信をもって行うことのよさや難しさを考えることができ, よいことと悪いことの区別を的確にしようとすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○正しいとわかっていることができないことについて自分の過ごし方を振り返り, 学習課題「主人公はこの後どうするのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, よいことと悪いことの区別を的確にすることについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年3学期

3年-No.26	なかまの気持ち	B 相互理解, 寛容①	1月(1時間)
ねらい	よりよい人間関係を作るために, 相手の気持ちを理解しようとする道徳的判断力を養う。		
教材	ドンマイ! ドンマイ! (「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 試合を引き分けた後に, またこの仲間で練習したいと思う主人公の姿から, 子どもたちはよりよい人間関係についての問題意識をもつことができる。展開では, 練習をしているときや試合中のこうくんの気持ちに着目して考えることで, 子どもたちはよりよい人間関係を作るために相手の気持ちを理解しようとするこの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○友達をせめてしまったが, またこの仲間で練習したいと思った主人公についての感想や疑問を話し合い, 学習課題「勝てなくてもよい試合だと思えるのは, どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 相手の気持ちを理解しようとするについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。<発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.27	友だちのすばらしさ	○B 友情, 信頼③	1月(1時間)
ねらい	よりよい友達関係を作るために, 友達のよさを見付け, 助け合っていこうとする道徳的心情を養う。		
教材	赤い灯 ゆれろ (「どうとく ゆたかな心」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 友達がけがをした自分のために内緒で作った雪どうろうをながめる主人公の姿から, 友達との関係についての問題意識をもつことができる。展開では, 友達が雪どうろうを作ったことに対する主人公の気持ちに着目することで, 友達のことを信頼し, 助け合うことの大切さを考え, よりよい集団を作ることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○雪どうろうをながめる主人公について感想や疑問を話し合い, 学習課題「よい友達とは, どんな友達だろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 友達のよさを見付け, 助け合うことについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。<発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年3学期

3年-No.28	にがてをとくいに	◎A 希望と勇気, 努力と強い意志②	1月(1時間)
ねらい	興味をもったことを納得するまで追求するために, 粘り強く取り組もうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	ぼくらは小さなかにはかせ(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 裏庭にいるかには不思議さを感じ調べ始めたが, なかなか見つけることのできない主人公たちの姿から, あきらめずに取り組める理由についての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公たちが粘り強く取り組めた理由に着目することで, あきらめずに取り組むことの難しさを考えることができ, 粘り強く取り組んでいこうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○粘り強く取り組んでいることについて振り返り, 学習課題「粘り強く取り組むためにはどんなことが大切だろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 粘り強く取り組むことの大切さについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 自分でやろうと決めた目標を達成するために, 粘り強く取り組むことについて, 大切だと思ったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.29	かぞくへの思いやり	C 家族愛, 家庭生活の充実②	2月(1時間)
ねらい	父母に対する敬愛の念を深めるために, 家族の一員として積極的に役立とうとする道徳的心情を養う。		
教材	おかあさん, かぜでねこむ ―ちびまる子ちゃん―(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 毎日夕食を作ってくれたり, 雑巾を夜遅くに作ってくれたりする母親のことを考える主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは風邪を引きながら雑巾を作ってくれたことについての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公のために雑巾を作っているときの母親の気持ちと主人公の母親に対する気持ちに着目して考えることで, 子どもたちは父母に対する敬愛の念を深めることができ, 家族の一員として積極的に役立とうとすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○家族との関係について自分の生活を振り返り, 学習課題「家族が無理をしてまで自分のためにしてくれるのは, どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 家族の一員として積極的に役立とうとすることについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年3学期

3年-No.30	おばあちゃんってすごい	B 感謝②	2月(1時間)
ねらい	家族に尊敬と感謝の気持ちをもって接するために、家族のために行動する祖父母の気持ちを考えようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	おばあちゃんのおせち(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、手が疲れながら料理を手伝う主人公や長い時間をかけておせち料理を準備していた祖母の姿から、子どもたちは大変な思いをしておせち料理を作る祖母の気持ちに問題意識をもつことができる。展開では、料理を作っているときの祖母やおせち料理を食べているときの主人公の気持ちに着目して考えることで、家族のために行動する祖母の気持ちに気付き、尊敬と感謝の気持ちをもって接していこうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○長い時間をかけておせち料理を準備していた祖母についての感想や疑問を話し合い、学習課題「料理がいつもよりおいしく感じたのは、どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、家族のために行動する祖父母の気持ちを考えることについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

3年-No.31	ほかの国のことを考える	C 国際理解, 国際親善①	2月(1時間)
ねらい	他国と日本の共通点や相違点に気付き、他国に関心をもとうとする道徳的心情を養う。		
教材	海をわたるランドセル(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、ランドセルを背負う子どもたちの笑顔を思い出す主人公の姿から、子どもたちは他国と日本の子どもたちの共通点に問題意識をもつことができる。展開では、他国の子どもたちの笑顔の理由に着目して考えることで、他国と日本の共通点や相違点について考えることができ、他国に関心を持つことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○子どもたちの笑顔の理由が分かるような気がした主人公についての感想や疑問を話し合い、学習課題「外国の人たちのために、私たちができることは何だろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、他国と日本の共通点や相違点に気付き、他国に関心をもとうとすることについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年3学期

3年-No.32	ふるさとを大切に	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度①	2月(1時間)
ねらい	郷土の伝統と文化を引き継いでいくために, 伝統と文化に興味をもって, 取り組もうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	キツネおどり(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 踊りの練習を嫌がったり, 踊るのを恥ずかしがったりする主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは郷土の伝統と文化を引き継いでいきたいと思っても, なかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が踊りを続けた理由に着目することで, 子ども達は郷土の伝統と文化を引き継いでいくことのよさや難しさを考えることができ, 伝統と文化に興味をもって, 取り組んでいこうとすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○地域の伝統行事について自分の過ごし方を振り返り, 学習課題「伝統や文化を引き継いでいくのは, どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 伝統と文化に興味をもち, 取り組むことについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

3年-No.33	地域の人々の思い	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度②	3月(1時間)
ねらい	自分たちの郷土の伝統を大切にするために, 地域の行事に参加しようとする態度を養う。		
教材	前橋祭り(自作)		
主題構成の理由	導入では, おはやしの練習に大勢の大人や子どもが集まり, 熱心に見たり教えたりする多くの人の姿から, 子どもたちはおはやしを多くの人が楽しみにしていることについての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が自分のことを恥ずかしく思うようになった理由について考えることで, 子どもたちは自分たちの郷土の伝統の大切さについて考えることができ, 地域の行事に参加しようとするすることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○地域の行事への関わりについて自分の生活を振り返り, 学習課題「どうして地域の行事に多くの人が参加するのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 地域の行事に参加することについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 3年3学期

3年-No.34	きまりは何のため	C 規則の尊重②	3月(1時間)
ねらい	ボールが片付いた理由を話し合うことを通して、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることが大切であることに気づき、実践しようとする態度を養う。		
教材	こまるのはだれ？これでいいのかな？（「どうとく ゆたかなこころ」光文書院）		
主題構成の理由	導入では、放課後まで片付けられていなかったボールが片付いたことについての感想や疑問を話し合うことで、みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ることの大切さについての問題意識をもてるようにする。展開では、ボールが片付いた理由に着目して考えることで、人任せにせず、みんなのためにすることをしようとするができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○ボールが片付いたことについての感想や疑問を話し合い、学習課題「きまりがなくてもうまくいくためには、何が大切なのだろう」をつかむ。	◇みんなが楽しく過ごすために一人一人が守るべきことを守ること大切さについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

3年-No.35	じょうほうの正しさ	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任②	3月(1時間)
ねらい	情報と安全に関わることができるように、ネットモラルの大切さに気づき、実践しようとする道徳的判断力を養う。		
教材	ヒントまであと少し（「どうとく ゆたかなこころ」光文書院）		
主題構成の理由	導入では、ウェブページの情報との関わり方に悩む主人公の姿から、子どもたちは情報との関わり方についての問題意識をもつことができる。展開では、主人公が個人情報やウェブ上で登録しなかった理由を考えることで、子どもたちは上手に関わるることの大切さについて考えることができ、実践しようとするができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○インターネットを活用した経験についての感想や疑問を話し合い、学習課題「インターネットの情報と安全に関わるためにはどうすればよいのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、うわさ話をするということについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			